

経 営 層 向 け

10/17～
全7回

ビジネスと人権 エグゼクティブセミナー

企業の存在意義を 地球・社会・未来志向で問う

人権を守るために、個人として、経営者として、ビジネスとして
何ができるかを7名の講師と語り合う研究会形式のセミナーです

対面開催

20名限定

第1回

2024年10月17日（木）
15:00～17:00

なぜサステナブル経営に「人権」の視点が重要か

若林 秀樹さん

THINK Lobby所長
ビジネスと人権 市民社会プラットフォーム 代表幹事
NPO法人 国際協力NGOセンター（JANIC）理事

第2回

2024年10月31日（木）
15:00～17:00

人権問題 ～事件、仕事、市民活動から学んだこと～

村木 厚子さん

全国社会福祉協議会会長

第3回

2024年11月13日（水）
15:00～17:00

分断か共生か？日本の未来の分岐点
～外国人労働者の受入れ・移民政策の課題から考える～

鈴木 江理子さん

国士館大学文学部教授

第4回

2024年11月28日（木）
15:00～17:00

ジェンダーギャップはなぜなくなるのか

小島 慶子さん

エッセイスト、メディアパーソナリティ
東京大学大学院情報学環客員研究員
昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員

第5回

2024年12月19日（木）
16:00～18:00

“うしろめたさ”から考える商いの倫理

松村 圭一郎さん

岡山大学文学部准教授

第6回

2025年1月16日（木）
15:00～17:00

いのちの可能性を追求するウェルビーイング

稲葉 俊郎さん

医師・医学博士、作家
慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント(SDM)特任教授

第7回

2025年1月28日（火）
15:00～17:00

共助社会と共感経済 ～アダム・スミスを起点として

堂目 卓生さん

大阪大学総長補佐
社会ソリューションイニシアティブ長
大学院経済学研究科教授

参加費

200,000円（税込）

当協会会員企業は150,000円（税込）

- ※ 全7回分の参加費です
- ※ 各回ごとのお申込みは受け付けておりません
- ※ 参加者の入れ替わりは自由ですが、原則として部長相当職以上のご参加をお願いします

会場協力

アマタホールディングス株式会社

東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 新お茶の水ビルディング12階

アクセス

J R御茶ノ水駅 聖橋口改札 徒歩1分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅直結

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会

東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244

<https://www.philanthropy.or.jp/>

お申込み・お問合せ

<https://www.philanthropy.or.jp/exec/>



本セミナー座長 河野通和さん

本研究会では、講師による講演のあと、座長・河野通和さんと講師との対話を中心に、ご参加の皆さまとも質疑応答・意見交換を通じて、より深い学びと発見の機会としていただきます

＜メッセージ＞日本は「人権後進国」と言われます。最初に聞いた時には、驚きました。しかも世界が問題視している日本の人権状況は、なかなか解消されません。日本に必要なのは、「人権省」のような国家機関の設置や、国際基準を満たすような諸制度の整備、人権意識の啓発・教育であると言われます。一方で、現在の国際人権の推移をにらみながら、この間独特の動きを見せてきた日本企業の対応など、一定の成果もありました。私たちは、いま改めて人権理念の歴史と本質を理解し、「自分ごと」として捉え直し、それぞれの立場や状況に応じて、適切に人権問題と向き合う「人権力」の強化に取り組むべきではないでしょうか。その学びの一助となれば幸いです

＜プロフィール＞「婦人公論」「中央公論」編集長、新潮社で季刊誌「考える人」編集長を歴任。2017年 株式会社ほぼ日に入社し、「ほぼ日の学校」初代校長を2021年10月まで務めた。現在は京都橘大学客員教授、たちばな教養学校Ukon(うこん)学頭、当協会理事



登壇者プロフィール

若林 秀樹さん

THINK Lobby所長 ビジネスと人権 市民社会プラットフォーム 代表幹事
NPO法人 国際協力NGOセンター（JANIC）理事

1976年早稲田大学卒、1979年ミシガン州立大学大学院農学部林学修士課程修了後、ヤマハ株式会社入社。ヤマハ労組・電機連合役員から外務省、民主党参議院議員、参院憲法調査会副会長、アムネスティ日本事務局局長等を歴任、国際人権基準、ビジネスと人権、SDGsに取り組む。2006年からジュネーブで開催されている国連「ビジネスと人権」フォーラムに団長として参加。外務省「ビジネスと人権」国別行動計画策定のための委員会諮問委員。2019年より「ビジネスと人権 市民社会プラットフォーム」代表幹事を務める



村木 厚子さん

全国社会福祉協議会会長

高知大学卒業後、労働省（現厚生労働省）入省。女性政策、障がい者政策、子ども政策などに携わる。2009年郵便不正事件で有印公文書偽造等の罪に問われ、逮捕・起訴されるも、2010年無罪が確定、復職。2013年～2015年まで厚生労働事務次官。退官後は住友化学株式会社の社外取締役などを務めている。また、累犯障害者を支援する「共生社会を創る愛の基金」や、生きづらさを抱える若年女性を支援する「若草プロジェクト」の活動にも関わっている。2023年より全国社会福祉協議会会長を務める



鈴木 江理子さん

国士舘大学文学部教授

一橋大学大学院博士課程修了。博士（社会学）。NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク共同代表理事、認定NPO法人多文化共生センター東京理事、一般社団法人かながわ国際交流財団理事、移民政策学会会長等を兼任。移民政策や人口政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。著書に『新版 外国人労働者受け入れを問う』（岩波書店）など



小島 慶子さん

エッセイスト、メディアパーソナリティ
東京大学大学院情報学環客員研究員 / 昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員

学習院大学卒業後、TBS入社。アナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演。1999年 第36回ギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティ賞受賞。2010年に独立し 各種メディア出演のほか、執筆・講演活動を精力的に行っている。2015年～2020年 朝日新聞パブリックエディター、2017年～ 東京大学大学院情報学環客員研究員（メディア表現とダイバーシティ:MeDi）、2019年～ 昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員。2014年～10年間 オーストラリア・パースに教育移住。日本とパースの二拠点生活を送り今年から日本定住



撮影：河内彩

松村 圭一郎さん

岡山大学文学部准教授

岡山大学文学部准教授。専門は文化人類学。所有と分配、海外出稼ぎ、市場と国家の関係などについて研究。著書に『所有と分配の人類学』（ちくま学芸文庫）、『うしろめたさの人類学』（ミシマ社、第72回毎日出版文化賞特別賞）、『くらしのアナキズム』（ミシマ社）、『これからの大学』（春秋社）、『はみだしの人類学』（NHK出版）、『人類学者のレンズ』（西日本新聞社）など、共編著に『文化人類学の思考法』（世界思想社）、『働くことの人類学』（黒鳥社）がある



稲葉 俊郎さん

医師・医学博士、作家
慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント（SDM）特任教授

東大病院循環器内科助教、軽井沢病院（2022-2024年、病院長）を経て、2024年現在、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント（SDM）特任教授。東北芸術工科大学客員教授（山形ビエンナーレ2020 2022 2024芸術監督）、武蔵野大学 ウェルビーイング学部 客員教授なども兼任。著書に『いのちを呼びさますもの』『いのちは のちの いのちへ』（アノニマ・スタジオ）、『いのちの居場所』（扶桑社）、『ことばのくすり』（大和書房）、『山のメディスン』（ライフサイエンス出版）など



堂目 卓生さん

大阪大学総長補佐 / 社会ソリューションイニシアティブ長 / 大学院経済学研究科教授

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。2001年より大阪大学教授。専門分野は 経済学史、経済思想。Political Economy of Public Finance in Britain 1767-1873（Routledge 2004）で日経・経済図書文化賞、『アダム・スミス「道徳感情論」と「国富論」の世界』（中央公論新社、2008）で、サントリー学芸賞を受賞。2019年、紫綬褒章。2023年「いのち会議」事業実行委員会副委員長に就任し、2025年の大阪・関西万博で「いのち宣言」を発出する活動を進めている

